鳥羽市役所
ISE-SHIMA NATIONAL PARK TOBA

Press Release

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関　各位

令和２年７月１５日（水）
【照会先】
鳥羽市観光課
担当：村田
℡ 0599-25-1155（内線 331）

タイトル

展覧会「自然とともに生きる海女とアーティスト　昔と今。石鏡町と神保町にダイブ！」

鳥羽市石鏡町の海女と東京都千代田区神保町にある海女の浮世絵という伝統文化･芸術からインスピレーションを受けて制作した作品の展覧会です。

概　要　：

この度7月18日（土）より、石鏡旅館組合、鳥羽市立海の博物館、鳥羽市主催で、石鏡町の海女と東京都千代田区神保町にある海女の浮世絵という伝統文化・芸術からインスピレーションを受けて制作した作品の展覧会「自然とともに生きる海女とアーティスト　昔と今。石鏡町と神保町にダイブ！」を石鏡旅館内にて実施することになりましたのでお知らせいたします。

本来であれば、石鏡旅館内のほか、石鏡町の町中での屋外展示、海の博物館ギャラリー、東京神保町古書店とギャラリーにて、夏期に同時に開催する予定でしたが、新型コロナウィルス感染拡大のため、同時開催は 2021 年 1 月下旬に延期となりました。しかし夏に鳥羽を訪れるお客様のために、石鏡旅館内（石鏡第一ホテル神倶良、いじか荘、新八屋、秀丸、芭新萃）での展示を、先に実施することになりました。ここで展示する作品は、アーティストたちが石鏡町を訪れ、海女と交流し、インスピレーションを受けた作品です。アートを通して多くの方に、海女文化のすばらしさを伝えたいと思います。

下記の日程で石鏡町の現地においてキュレーター（企画者）等による本展覧会企画の説明や展示作品の現地説明を行いますので、よろしくお願いいたします。

誠に恐縮ですが、ぜひとも取材していただければ幸いです。よろしくお願いします。

● 日　時　：　令和２年７月１７日（金）　午後２時～午後２時３０分ごろまで

● 場　所　：　石鏡第一ホテル神倶良（鳥羽市石鏡町 338-5）内ロビーにて

● 内　容　：本展覧会企画の説明
石鏡町内旅館内の展示作品の説明
質疑応答　など
※出席予定者は、以下のメンバーを予定
キュレーター　リンダ・デニス（女子美術大学准教授）
共同企画者　石原真伊（鳥羽市立海の博物館）
石鏡旅館組合

● 石鏡町宿泊施設展示概要（2020.7.18～2021.3.31）
以下の施設において各アーティストの展示を実施

	宿泊施設名	アーティスト名	作品名
a	石鏡第一ホテル 神倶良	ゾエ・ポーター 北村芽子	作品 1,2,3「潜る前と後（三部作)」 作品 1「思い出」 作品 2「朝日」 作品 3「追憶」
b	芭新萃	荻野夕奈	作品 1「Dive d-010620_1」 作品 2「海女 d-040620_1」 作品 3「“神代のままの海をむかへて D-120620_1” 葛飾北斎「鮑とり」より」
c	いじか荘	稲垣美侑	作品 1「Undersea-Ijika #01」 作品 2「Undersea-Ijika#02」 作品 3「Swimming-Ijika#01」
d	新八屋	リンダ・デニス	作品 1「いじかの獲物 No1：スカリと浜の小石」 作品 2「いじかの獲物 No2：スカリと浜の小石」 作品 3「いじかの獲物 No3：スカリとアワビ」
e	秀丸	大野愛子 (石鏡海女、ﾌｫﾄｸﾞﾗﾌｧｰ)	作品 1「アワビを手にする海女」 作品 2「ドーマンセーマン」 作品 3「上る海女」

● スケジュール（詳細は別紙フライヤーデータ参照）
・2020.7.18～2021.3.31　石鏡町内宿泊施設内での展示
・2021.1.23～2021.3.31　石鏡の漁港やまちなか、海の博物館での展示
・2021.3.16～2021.3.31　東京都神保町の古書店での展示

● 主　催　：石鏡旅館組合、鳥羽市立海の博物館、鳥羽市

● 協賛・協力：石鏡町内会、鳥羽磯部漁業協同組合石鏡支所、鳥羽市観光協会、三重大学海女研究センター、タッチ・ベース・クリエイティブ・ネットワーク

ゾイ・ポーター《海藻と海女》2019
Zoe PORTER, *Kelso & Amo*, 2019

© Brisbane Digital Images

豊原国周《現時五十四情 第九号》1884
Toyohara Kunichika, *Genji Goju-shi jo Dai Kyugo*, 1884

自然とともに生きる
海女とアーティスト
昔と今。石鏡町と神保町にダイブ!

Coexisting with Nature
Ama Divers & Artists.
Then & Now. Dive into Ijikacho and Jimbocho

荻野夕奈《"神代のままの春をむかえて"、葛飾北斎「鮑とり」より》2020
OGINO Yuna, *"Prospering Since the Age of The Gods"* (Inspired by 'Awabitori' by Katsushika Hokusai), 2020

写真＝大野愛子
Photo by ONO Aiko

展覧会 | Exhibitions

[石鏡町展示会場 Ijikacho Venues | 三重県鳥羽市 Toba city, Mie Pref.]

石鏡旅館組合 Ijika Ryokan Hotels
石鏡第一ホテル 神倶良、芭新萃、いじか荘、新八屋、秀丸

2020.7.18 Sat – 2021.3.31 Wed

石鏡町内各所、海の博物館ギャラリー

Various places near Ijika Port, Toba Sea-Folk Museum Gallery

2021.1.23 Sat – 3.31 Wed

[神保町展示会場 Jimbocho Venues | 東京都千代田区 Chiyoda ward, Tokyo]

ギャラリーそうめい堂、大屋書房、山田書店、五拾画廊、原書房
Rare Bookstores & Ukiyoe Galleries

2021.3.16 Tue – 3.31 Wed

新型コロナウィルス感染拡大の状況により、内容を変更する可能性があります。
The contents may be changed according to the situation of the spread of COVID 19.

［主催］
石鏡旅館組合、鳥羽市立海の博物館、鳥羽市

［協賛・協力］
石鏡町内会
鳥羽磯部漁協石鏡支所
鳥羽市観光協会
三重大学海女研究センター
タッチ・ベース・クリエイティブ・ネットワーク

［Co-Organization］
Ijika Ryokan Association, Toba Sea-Folk Museum, Toba City

［Cooperation］
Ijika Neighborhood Association
Fisheries Cooperative Ijika
Toba City Tourism Association
Mie University AMA Research Center
Touch Base Creative Network

［問い合わせ］鳥羽市観光課
［Inquiries］Toba City Tourism Division
Tel: 0599-25-1157

@amadivers.and.artists
https://touch-base-create.net/amadivers-and-artists/

鳥羽うみ アートプロジェクト Art Project : Toba Umi

アーティスト
ゾイ・ポーター
リンダ・デニス
荻野夕奈
稲垣美侑
北村芽子

海女／フォトグラファー
大野愛子

キュレーション
リンダ・デニス
［女子美術大学 准教授］

共同企画
リンダ・デニス
石原真伊
［鳥羽市立海の博物館］

Artists
Zoe PORTER
Linda DENNIS
OGINO Yuna
INAGAKI Miyuki
KITAMURA Meiko

Ama / photographer
ONO Aiko

Curation
Linda DENNIS
(Joshibi University
Associate Professor)

Co-Directors
Linda DENNIS
ISHIHARA Mai
(Toba Sea-Folk Museum
Public Relations)

Zoe PORTER © Joseph RUCKLI

Linda DENNIS © SAKAMOTO Hakubun

OGINO Yuna

INAGAKI Miyuki © OZAKI Yoshihiro

KITAMURA Meiko

ONO Aiko

自然とともに生きる海女とアーティスト
昔と今。石鏡町と神保町にダイブ！

Coexisting with Nature: Ama Divers & Artists.
Then & Now. Dive into Ijikacho and Jimbocho

Exhibitions of artworks inspired by living culture of Ama divers of Ijikacho, and historical depictions of Ama in the Ukiyoe prints of Jimbocho.

鳥羽市石鏡町の海女と東京都千代田区神保町にある海女の浮世絵という伝統文化・芸術からインスピレーションを受けて制作した作品の展覧会です。

約3000年という長い歴史を持つ「海女」。
海女はなぜ、これほど長く漁を続けることができたのでしょうか？
今の時代、私たちが新しい生き方を探求するとき、
自然の中で共同体を大切にし、持続可能な生活を送る海女たちから
影響を受けた作品は、私たちに新しい気付きを与えてくれるかもしれません。

縄文遺跡から出土したアワビ殻やアワビオコシ、奈良時代の「万葉集」、
平安時代の「枕草子」などから、その足跡をたどることができます。
時は流れ江戸時代、日本が誇る芸術として誕生した「浮世絵」にも
海女が描かれました。江戸時代の浮世絵師たちは、類稀なる潜水技術を
持つ海女に魅力を感じ、創造を膨らませ作品を制作しました。
東京神保町の古書店には、海女が描かれた浮世絵が今もねむっています。
現代のアーティストたちは、鳥羽市石鏡町で、自然と寄り添いながら
漁を続ける海女たちに出会い、何を感じるでしょうか？

With a history of over 3,000 years, why have Ama divers been able to continue for such a long time? Are there new insights to be gained of ways to live with nature, by conveying the charms of Ama diver culture through artworks inspired by Ama related culture and art.

Ama culture can be traced through history from tools and abalone shells discovered from the Jomon era (14,000–300 BCE), and mentions in poems of "Manyoshu" of the Nara period (710–784) and "The Pillow Book" of the Heian period (794 to 1185). Ama divers were also depicted in ukiyoe prints of the Edo period (1603–1868), and original prints of Ama can be discovered lying hidden in the rare bookstores of Tokyo's Jimbocho. In this project, what will the artists' response be when they meet Ama divers in Ijikacho living in tune with the seasons, and when they see Edo period Ukiyoe prints in Jimbocho inspired by Ama divers of the past?

関連展示「浜の遠声（とおごえ） 石鏡の暮らし写真展」

Related Exhibit "Voices from the Shore: Photo Exhibition of Everyday Life in Ijika"

海の博物館が所蔵する昭和40−50年代に撮影された海女漁、海女の日常に関する
写真を展示します。2021年2月の開催を予定しています。詳細はHP、SNSをご確認ください。

This exhibit features photographs taken in the 1960's and 70's in the collection of Toba Sea-Folk Museum, relating to the daily lives of Ama divers and their fishing.
The event is scheduled for February 2021. Please check HP and SNS for more information.

主催：三重大学海女研究センター　Organization: Mie University AMA Research Center

石鏡町 展示会場 Ijikacho Venues ｜ 三重県鳥羽市 Toba city, Mie Pref.

石鏡旅館組合 Ijika Ryokan Hotels

2020.**7.18** Sat
–2021.**3.31** Wed

石鏡の海女にインスパイアされた紙の作品の展示
Works on paper inspired by ama divers of Ijika

a 石鏡第一ホテル 神倶良
Ijika Daiichi Hotel Kagura
http://www.ijikajyo.com/

b 芭新萃 | Hanashinsui
http://www.hanashinsui.com/

c いじか荘 | Hotel Ijikaso
http://www.ijikasou.com/

d 新八屋 | Shinpachiya
https://www.shinpachiya.com/

e 秀丸 | Hidemaru
https://hidemaru-hanagokoro.jp/

石鏡町内各所、海の博物館ギャラリー

Various places near Ijika Port, Toba Sea-Folk Museum Gallery

2021.**1.23** Sat –**3.31** Wed

f 石鏡町内各所 | Various places near Ijika Port
屋外空間に設置されたインスタレーション作品の展示
Installation artworks in outdoor spaces

アクセス | 電車＝JR・近鉄鳥羽駅より、パールロード経由の石鏡港行きかもめバスで43分。石鏡港下車　自動車＝伊勢自動車道伊勢西ICから伊勢二見鳥羽ラインを経由しパールロード沿い45分

Access | Train and Bus: From the JR and Kintetsu Line Toba station, take the KAMOME Bus which runs via Pearl Road about 43 minutes. Get off at the "Ijikakou" stop. Car: From Ise expressway. Ise IC, about 45 minutes.

g 鳥羽市立海の博物館ギャラリー
Toba Sea-Folk Museum Gallery
海女の浮世絵にインスパイアされた紙の作品の展示
Works on paper inspired by ama ukiyoe

〒http://www.umihaku.com **9:00–16:00**
入館料 | 大人800円、学生400円 **Admission** | Adult ¥800, Student ¥400
アクセス | 電車＝JR・近鉄鳥羽駅より、パールロード経由の石鏡港行きかもめバスで35分。海の博物館前下車すぐ　自動車＝伊勢自動車道伊勢西ICから伊勢二見鳥羽ラインを経由しパールロード沿い40分

Access | Train and Bus: From the JR and Kintetsu Line Toba station, take the KAMOME Bus which runs via Pearl Road about 35 minutes. Get off at the "Umi no Hakubutsukan" stop and the museum is nearby. Car: From Ise expressway. Ise IC, about 40 minutes.

神保町 展示会場 Jimbocho Venues ｜ 東京都千代田区 Chiyoda ward, Tokyo

2021.**3.16** Tue –**3.31** Wed

海女の浮世絵とそれに関連する紙の作品の展示
Ama ukiyoe, and related works on paper

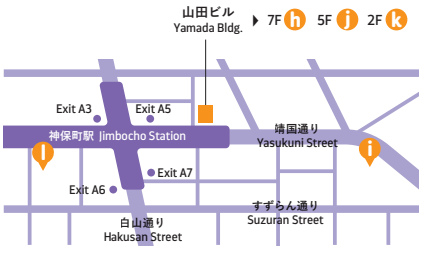
h ギャラリーそうめい堂 | Gallery Soumei-do
https://www.soumei.biz/ **11:00–18:30**（日・月・祝休）

i 大屋書房 | Ohya Shobo
https://www.ohya-shobo.com/ **10:00–18:00**（日・祝休）

j 五拾画廊 | Fifty-Gallery
http://www.fifty-gallery.com/ **11:00–19:00**（日・月・祝休）

k 山田書店美術部 | Yamada Shoten (Art Section)
https://www.yamada-shoten.com/ **10:30–18:30**（日・祝休）

l 原書房 | Hara Shobo
https://www.harashobo.com/ukiyoe/ **11:00–18:00**（日・月・祝休）



神保町駅 | 東京メトロ半蔵門線、都営新宿線、都営三田線
Jimbocho Station | Hanzomon line, Shinjuku line, Mita line.